

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援 きらきらハート	公表日	2026年 3月 23日
------	-----------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		目的に合わせた空間づくりを行い、より良い支援に努めています。	活動に応じて室内の環境に配慮し、安全に過ごすことが出来るよう支援しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			指定基準を満たして運営しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		バリアフリーであり、死角の少ない活動スペースとなっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		消毒の徹底、空気清浄機を複数設置し、清潔で心地の良い環境づくりに努めています。	療育、送迎終了後に、室内や車内の消毒を継続的に行っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		個々に応じて、対応できるよう個室を設けています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		日々の支援を行う上で、PDCAサイクルを活用し、支援と情報共有を行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者からの声を職員間で把握し、改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	43%	57%		必要であれば、今後検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		研修は、随時行っています。支援の向上を図るために内部研修・外部研修共に実施しています。	内部研修（熱中症対策・てんかん発作時や感染対策）等、定期的に行っています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		子どもや保護者のニーズを汲み取り、課題や目標の設定を行い、計画を立てています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		職員間で情報共有を行い、支援計画に沿った支援を行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		支援計画には適切な項目を設定しています。また、その内容には子どもや保護者のニーズをくみ取り、現状と課題を具体的に設定し日々の支援に繋げています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		会議を通して、職員全員で取り組んでいます。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		個々に合わせた目標や課題を設定し、状況や状態に合わせて固定化されないよう工夫しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		活動内容は、適宜組み合わせられています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		毎朝ミーティングを行っています。その間、職員間で情報共有を行い、日々の支援に努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	退勤時間が異なる為、翌朝のミーティングの際に前日の確認と情報共有を行っています。気付いた点等は、退勤時に各自報告を行い、申し送りを徹底しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		日々の記録を具体的に記入する事で、PDCAサイクルの確認、分析、評価に繋げることが出来ています。より良い支援に日々努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的に会議を実施し、支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		基本的に、児発管が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		日頃から連絡を取り合い、連携した支援に繋がっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		関係機関と連携を図りながら、情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	86%	14%	会議や研修等を通して、連携を図っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	現在は、交流する機会を持っていません。	改めて機会を設けず、それぞれの所属先で交流を図っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		子どもの様子は、連絡帳やお迎え時に、具体的に伝えていませ。そこで、共通理解に繋げることが出来るよう努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		日々の様子を把握し、個別の相談の中で、助言しています。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に丁寧な説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		送り出し時等、随時相談にのっています。必要な時には、関係機関との連絡調整も行っていきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		お茶会や親子遠足を実施しました。	今後も、交流の場を設けていけるよう企画を行い支援に努めていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		相談等の申し入れがあった場合には、迅速かつ適切に対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		ホームページを作成し、定期的にブログの更新を行っています。また、事業所内にも掲示し、活動の様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		十分に注意し、取り扱っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		情報が正しく伝わるように、可視化やツールを用いる等の配慮をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%	地域の方を招待し、らくりん座の演劇鑑賞会を行いました。	今後も、企画を行い、事業運営に努めていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		マニュアルについては、長期休み前にお便りを発行し、周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		避難訓練は、年2回実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		契約時に確認を取っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		基本的に、保護者の方を通じて情報を共有しています。また、必要に応じて状況書や指示書の提出を頂いています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待に対する知識等を学び、日々の支援に繋げています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		対象となる児童はいないが、契約時に丁寧な説明を行っています。		